

## 学校便り

第299号  
平成24年7月2日練馬区立光が丘第八小学校  
校長 鈴木 隆志

## 一斉防災訓練を実施して

校長 鈴木 隆志

6月15日（金）、「練馬区立学校（園）一斉防災訓練」を実施いたしました。当日登校していた児童222名のうち163名は引き取りによる下校でした。59名は所定の時間まで学校に留め置きその後方面別集団下校となりました。平日のお忙しい時間帯にもかかわらず、一斉防災訓練に協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

訓練を実施して、以下のように、学校としても考え直すべき点がいくつか明らかになりました。

## ◆電話での緊急連絡網が機能しないこと

訓練当日は、電話による各学級の緊急連絡網を流しました。が、連絡網がなかなか繋がりません。一人で何人にも電話をかけてくださった方、連絡が来るまで自宅で待機していた方、連絡が来るかと待っていたものの来ないので遅くなって引き取りに来た方など、連絡網には多くの課題があります。普段でもなかなか繋がらない電話連絡網です。大地震発生等の緊急時には、なおのことと思います。

練馬区内のいずれかで震度5弱以上の地震が観測された場合や、東海地震「警戒宣言」が発令された場合は、すぐに授業を打ち切り、保護者の方（引き取り登録人）に「引き取り」をお願いいたします。保護者の方（引き取り登録人）が迎えに来るまで、児童は学校で待機させます。

という大原則が周知徹底されていれば、今回のような場合は電話連絡網は必要なかったと言えます。各家庭が大地震発生と同時に「引き取り」に向かうとしたほうが現実的な対応です。大地震発生等の緊急時には、連絡を回すことに腐心するより、我が子の安全確保を優先することは当然のことです。

## ◆一斉配信メールがあれば安心とはいかないこと

昨年度から導入した一斉配信メールシステムですが、6月15日現在で86.1%の登録率です。全校で32名の児童については、未登録です。また、配信を試みたところ、「配信不可」の状態となり、メールが届かなかった御家庭もありました。電話連絡網を使わずに、個別に緊急連絡を届ける場合は、この一斉配信メールシステムが有効な手段の一つとなります。未登録の御家庭にはぜひ登録をしていただき、「配信不可」状態の御家庭には指定受信の設定をしていただき、確実に緊急連絡が配信できるようにしていきたいと考えます。

また、メールを受信した際に「開封確認」をお願いしています。今回の一斉メール配信においては開封確認された方が116名、されなかった方が116名でした。メールを受信した際には開封確認の作業をお願いいたします。実際の場合は、未開封の状態の方には、引き取りに来られるまで重ねてメールを送信する必要が生じます。一斉配信メールでは、個別にメールを送信することも可能です。

「一斉配信メールがあれば安心」というわけにはいきません。状況に応じて、学校から個別に電話やメールで連絡を取らせていただきます。緊急連絡先は事前に必ず知らせておいてください。

なお、一斉配信メールには登録しないという方には、緊急連絡先に個別に電話連絡を入れます。

## ◆実際の場面をシミュレーションしての引き取り人登録が必要なこと

今回の訓練では「第1引き取り人」が引き取りに来た方が153人、「第2引き取り人」が10人でした。実際の場合、第1引き取り人すなわち保護者や親族の方が迎えに来られるとは限りません。近所の方、お友達等で第2引き取り人を登録することも必要かもしれません。ただ、責任を伴うことです。お互いの了解が得られなければ無理にお願いすることはできません。

今回の訓練を教訓として引き取り人の登録をし直したいという方は、担任までお申し出ください。

実際の場面では、自分のお子さん以外の子供の第2引き取り人となっても、自分のお子さんを引き取ることはできない場合もあるでしょう。気を利かせて第2引き取り人が引き取りをした後に保護者が迎えに来ることもあるでしょう。学校としても、状況に応じて、第1引き取り人のみに引き渡すこともあり得ることです。状況に応じた適確な判断をしていきたいと考えます。

#### ◆引き取り場所は校庭が基本となること

震度5弱以上の大地震の際には、自動的に体育館が地域の避難拠点となります。従って、引き取り場所は校庭が基本となります。建物の安全が確認できれば、雨天時の場合や時間の経過等に伴って、引き取り場所が校庭から視聴覚室へ移動することもあります。視聴覚室での引き取りの際は、引き取り人は校舎に入らず、校庭側の出入り口で行います。

また、状況によっては、引き取ったあとそのまま避難拠点である体育館へ向かうということも考えられます。その際の動線もはっきりさせておくことが必要だと分かりました。

#### ◆登下校時、放課後等の場合

大地震はいつ起こるか分かりません。登下校中や放課後等、あるいは家に一人にいるときに地震が発生した場合、子供たちには自分の判断で自分の身を守ることができるようにと指導をしています。家に戻る、学校に避難する、自宅に一人でいないようにするなど、いつ起こるか分からない大地震等に対し、幾重にも備えをしておくことが肝心であると考えます。